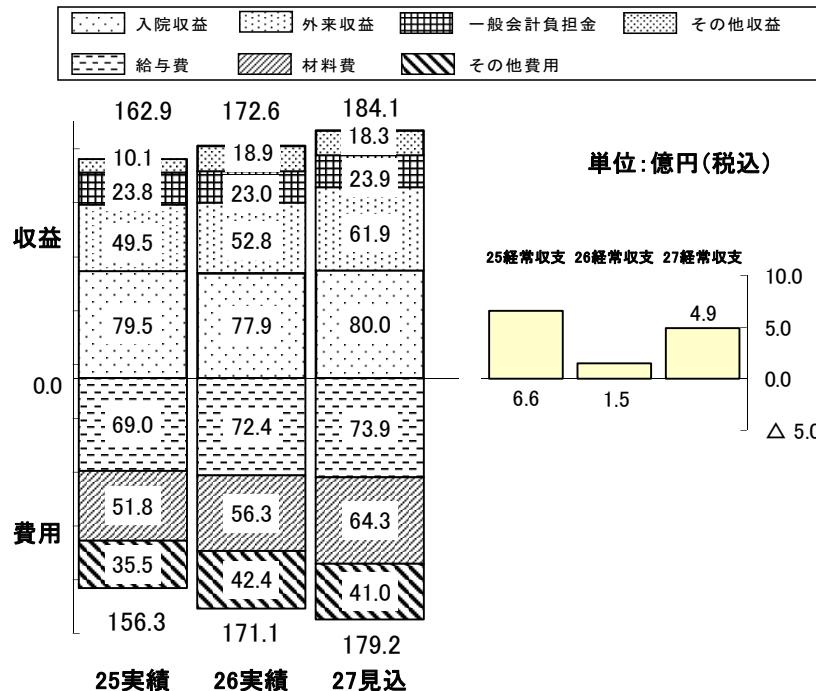


1 がんセンター中央病院（研究所を含む）



【平成26年度決算】

<差引損益>

平成26年度経常収支は1.5億円の黒字で、前年度決算（6.6億円の黒字）に比べ5.1億円の収支黒字の縮小。

<収益>

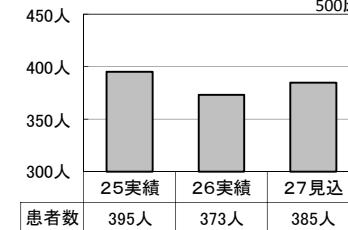
収益全体では172.6億円で、前年度決算（162.9億円）に比較し9.7億円の増収。

- ・入院収益は、平均在院日数の短縮による入院患者数の減などにより1.6億円の減収。
- ・外来収益は、注射料、投薬料の上昇などにより3.3億円の増収。
- ・一般会計負担金は、0.8億円の減額。（研究所）
- ・その他収益は、新会計制度導入に伴う長期前受金戻入・資本費繰入収益の計上による増6.3億円、受託研究収益・共同研究費の増などによる増2.5億円。

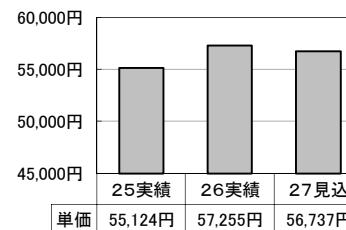
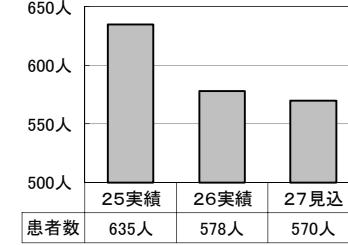
<費用>

費用全体では171.1億円で、前年度決算（156.3億円）に比較して14.8億円の増加。

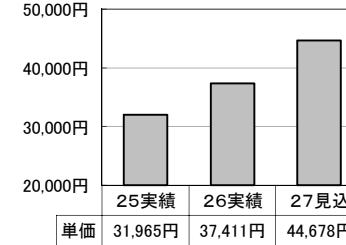
- ・給与費は、医師・看護師等の増員、給与抑制の解除により3.4億円の増加。
- ・材料費は、消費税増税に伴う支出の増1.6億円、高額な抗がん剤等の使用量の増などによる増2.9億円。
- ・その他費用は、みなし償却制度廃止等に伴う減価償却費の増4.0億円、光熱水費の増、看護師確保経費、医療器械の新規保守料などによる増2.9億円。

入院患者数
(1日当り) 許可病床数
500床

入院単価

外来患者数
(1日当り)

外来単価



【平成27年度決算見込】

<差引損益>

平成27年度経常収支は4.9億円の黒字となる見込みで、前年度決算（1.5億円の黒字）に比べ3.4億円の収支黒字の拡大。

<収益>

収益全体では184.1億円で、前年度決算（172.6億円）に比較し11.5億円の増収。

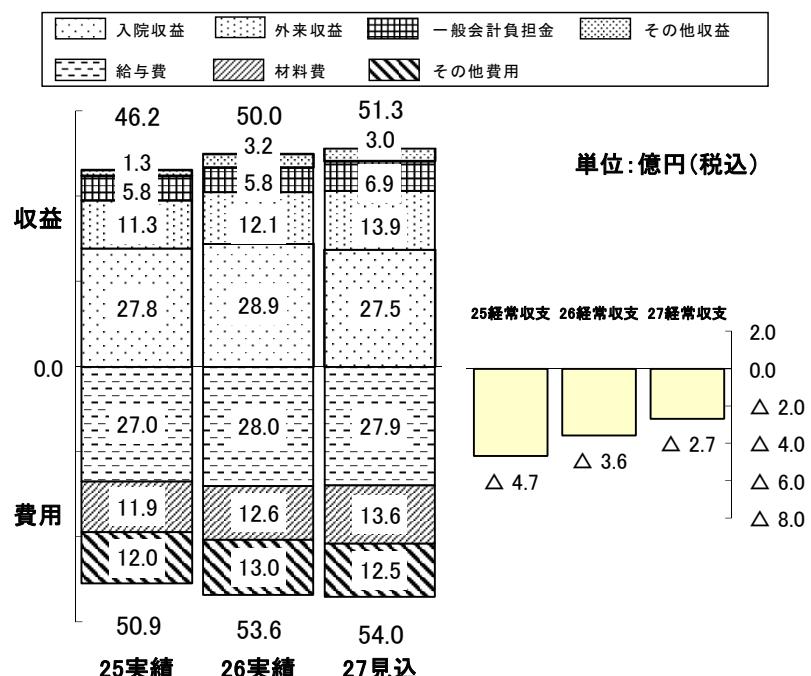
- ・入院収益は、入院患者数、手術件数の増などにより2.1億円の増収。
- ・外来収益は、注射料、投薬料の上昇などにより9.1億円の増収。（うち、オプジーボの肺がん適用追加に伴う注射料の増4.5億円）
- ・一般会計負担金は、0.9億円の増額。（バイオバンク）
- ・その他収益は、償却終了に伴う長期前受金戻入の減などによる減0.6億円。

<費用>

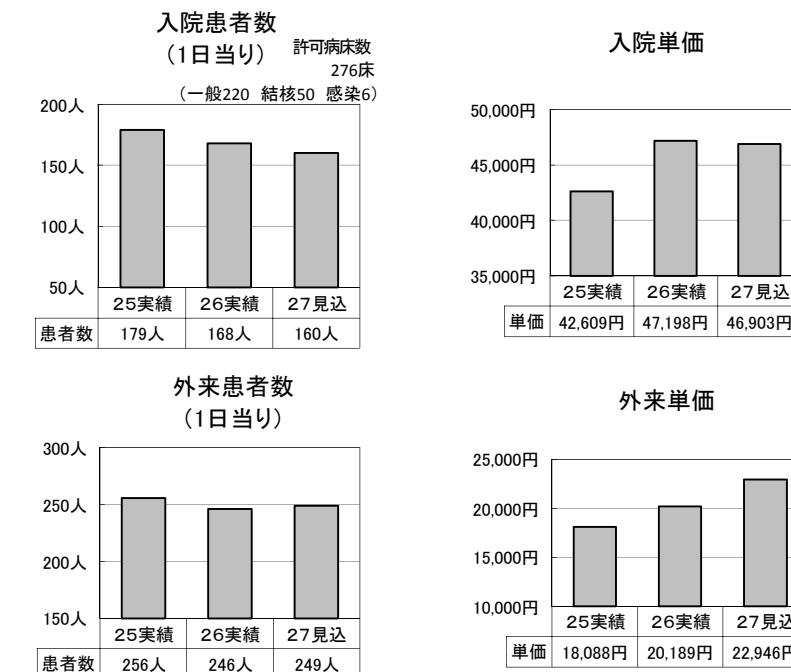
費用全体では179.2億円で、前年度決算（171.1億円）に比較して8.1億円の増加。

- ・給与費は、医師・看護師等の増員などにより1.5億円の増加。
- ・材料費は、高額な抗がん剤等の使用量の増などによる増8.0億円。（うち、オプジーボの肺がん適用追加に伴う薬品費の増4.5億円）
- ・その他費用は、償却終了（26年度）に伴う減価償却費の減1.2億円、光熱水費の減などによる減0.2億円。

2 がんセンター愛知病院



単位: 億円(税込)



【平成26年度決算】

<差引損益>

平成26年度経常収支は3.6億円の赤字で、前年度決算（4.7億円の赤字）に比べ1.1億円の収支改善。

<収益>

収益全体では50.0億円で、前年度決算（46.2億円）に比較し3.8億円の増収。

- ・入院収益は、DPC移行による診療単価の上昇、手術件数の増などにより1.1億円の増収。
- ・外来収益は、外来化学療法の件数増などにより0.8億円の増収。
- ・一般会計負担金は、同額。
- ・その他収益は、新会計制度導入に伴う長期前受金戻入・資本費繰入収益の計上による増1.9億円。

<費用>

費用全体では53.6億円で、前年度決算（50.9億円）に比較して2.7億円の増加。

- ・給与費は、現員数の増、給与抑制の解除により1.0億円の増加。
- ・材料費は、消費税増税に伴う支出の増0.3億円、高額な抗がん剤等の使用量の増などによる増0.4億円。
- ・その他費用は、みなし償却制度廃止等に伴う減価償却費の増0.6億円、光熱水費の増、医療器械の新規保守料などによる増0.4億円。

【平成27年度決算見込】

<差引損益>

平成27年度経常収支は2.7億円の赤字となる見込みで、前年度決算（3.6億円の赤字）に比べ0.9億円の収支改善。

<収益>

収益全体では51.3億円で、前年度決算（50.0億円）に比較し1.3億円の増収。

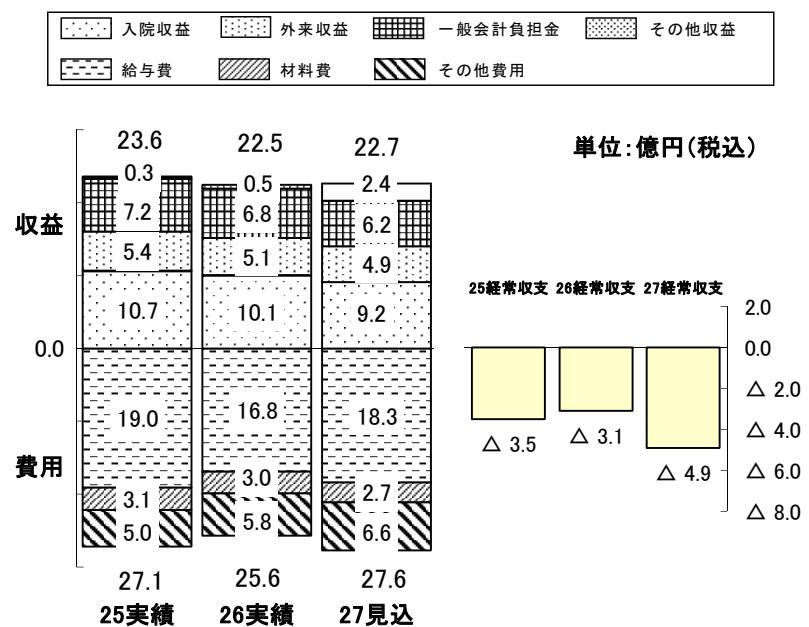
- ・入院収益は、患者数及び単価の減などにより1.4億円の減収。
- ・外来収益は、注射料、投薬料の上昇などにより1.8億円の増収。（うち、オプジーボの肺がん適用追加に伴う注射料の増1.0億円）
- ・一般会計負担金は、1.1億円の増額。（結核）
- ・その他収益は、0.2億円の減収。

<費用>

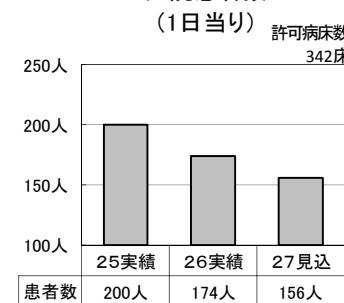
費用全体では54.0億円で、前年度決算（53.6億円）に比較して0.4億円の増加。

- ・給与費は、0.1億円の減少。
- ・材料費は、オプジーボの肺がん適用追加に伴う薬品費の増1.0億円
- ・その他費用は、償却終了（26年度）に伴う減価償却費の減0.5億円。

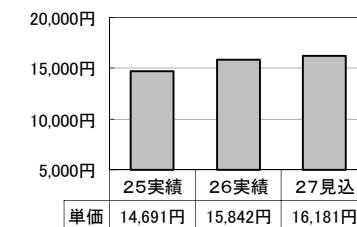
3 城山病院



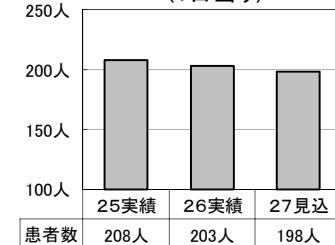
入院患者数 (1日当り) 許可病床数



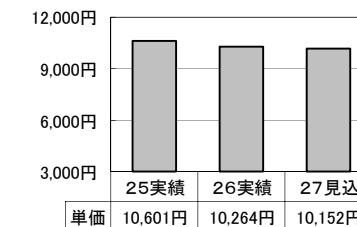
入院単価



外来患者数 (1日当り)



外来単価



【平成26年度決算】

<差引損益>

平成26年度経常収支は3.1億円の赤字で、前年度決算（3.5億円の赤字）に比べ0.4億円の収支改善。

<収益>

収益全体では22.5億円で、前年度決算（23.6億円）に比較し1.1億円の減収。

- ・入院収益は、長期入院患者の退院促進による患者数の減少により、0.6億円の減収。
- ・外来収益は、デイケア患者数及びデイケア診療単価の減などにより、0.3億円の減収。
- ・一般会計負担金は、0.4億円の減額。（入院患者減）
- ・その他収益は、新会計制度導入に伴う長期前受金戻入・資本費繰入収益の計上による増0.2億円

<費用>

費用全体では25.6億円で、前年度決算（27.1億円）に比較して1.5億円の減少。

- ・給与費は、現員数の減、退職給与金の減などにより2.2億円の減少。
- ・材料費は、0.1億円の減少。
- ・その他費用は、建物解体に伴う固定資産除却費の増0.7億円、光熱水費などの増0.1億円。

【平成27年度決算見込】

<差引損益>

平成27年度経常収支は4.9億円の赤字となる見込みで、前年度決算（3.1億円の赤字）に比べ1.8億円の収支悪化。

<収益>

収益全体では22.7億円で、前年度決算（22.5億円）に比較し0.2億円の増収。

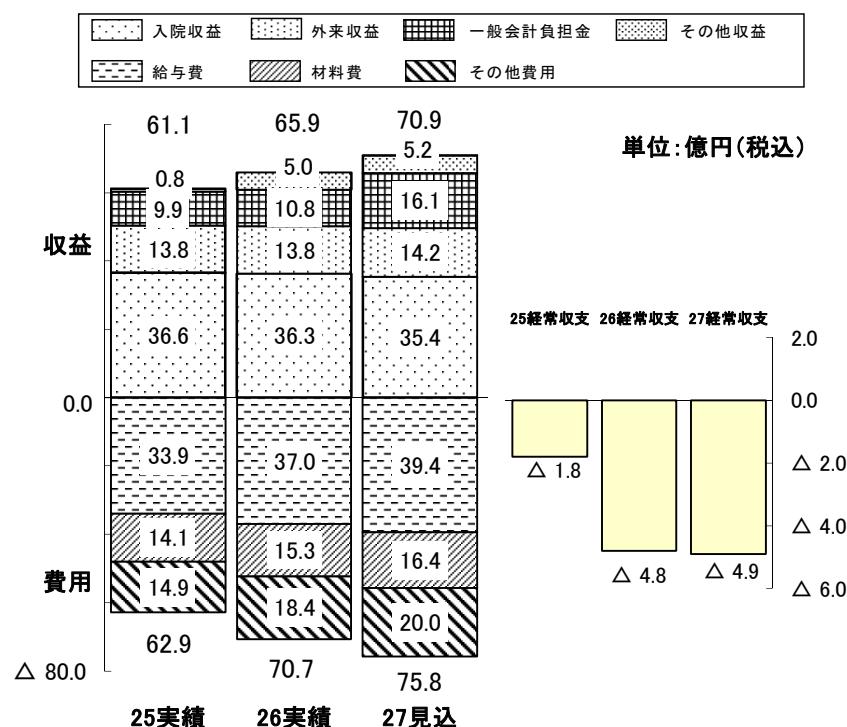
- ・入院収益は、長期入院患者の退院促進による患者数の減少により0.9億円の減収。
- ・外来収益は、デイケア患者数及びデイケア診療単価の減などにより0.2億円の減収。
- ・一般会計負担金は、0.6億円の減額。（入院患者減）
- ・その他収益は、医療観察法病棟運営費等の補助金収入の増により1.9億円の増収。

<費用>

費用全体では27.6億円で、前年度決算（25.6億円）に比較して2.0億円の増加。

- ・給与費は、医療観察法病棟要員の前倒し確保などにより1.5億円の増加。
- ・材料費は、患者数の減少などにより0.3億円の減少。
- ・その他費用は、改築に伴う初度備品の整備による消耗品費・消耗備品費の増0.8億円。

4 あいち小児保健医療総合センター



【平成26年度決算】

<差引損益>

平成26年度経常収支は4.8億円の赤字で、前年度決算（1.8億円の赤字）に比べ3.0億円の収支悪化。

<収益>

収益全体では65.9億円で、前年度決算（61.1億円）に比較し4.8億円の増収。

- ・入院収益は、手術単価の減などにより0.3億円の減収。

- ・外来収益は、同額。

- ・一般会計負担金は、0.9億円の増額。（職員増）

- ・その他収益は、新会計制度導入に伴う長期前受金戻入・資本費繰入収益の計上による増4.2億円

<費用>

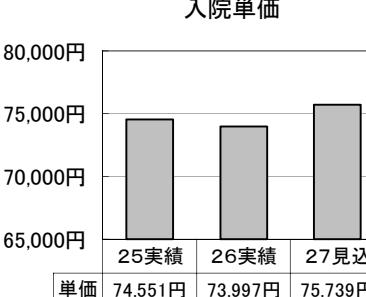
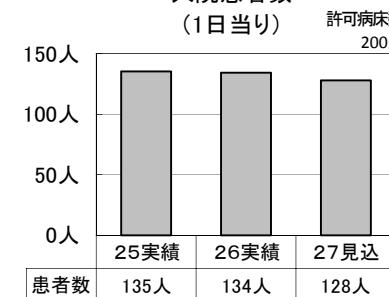
費用全体では70.7億円で、前年度決算（62.9億円）に比較して7.8億円の増加。

- ・給与費は、医師・看護師の増員、給与抑制の解除により3.1億円の増加。

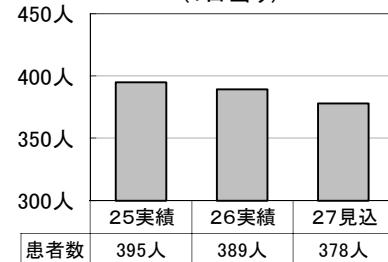
- ・材料費は、消費税増税に伴う支出の増0.4億円、心臓外科・集中治療科関係の診療材料の使用量増などによる増0.8億円。

- ・その他費用は、みなし償却制度廃止等に伴う減価償却費の増2.8億円、光熱水費の増、救急業務拡大に伴う委託費などによる増0.7億円。

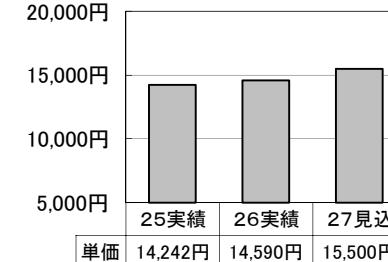
入院患者数 (1日当り)



外来患者数 (1日当り)



外来単価



【平成27年度決算見込】

<差引損益>

平成27年度経常収支は4.9億円の赤字となる見込みで、前年度決算（4.8億円の赤字）に比べ0.1億円の収支悪化。

<収益>

収益全体では70.9億円で、前年度決算（65.9億円）に比較し5.0億円の増収。

- ・入院収益は、救急棟への移転に伴い手術を休止したことによる手術件数減や心療科の入院患者数減などにより0.9億円の減収。

- ・外来収益は、腎臓科、内分泌科、感染科、総合診療科の収益増などにより0.4億円の増収。

- ・一般会計負担金は、5.3億円の増額。（救急関連）

- ・その他収益は、0.2億円の増収。

<費用>

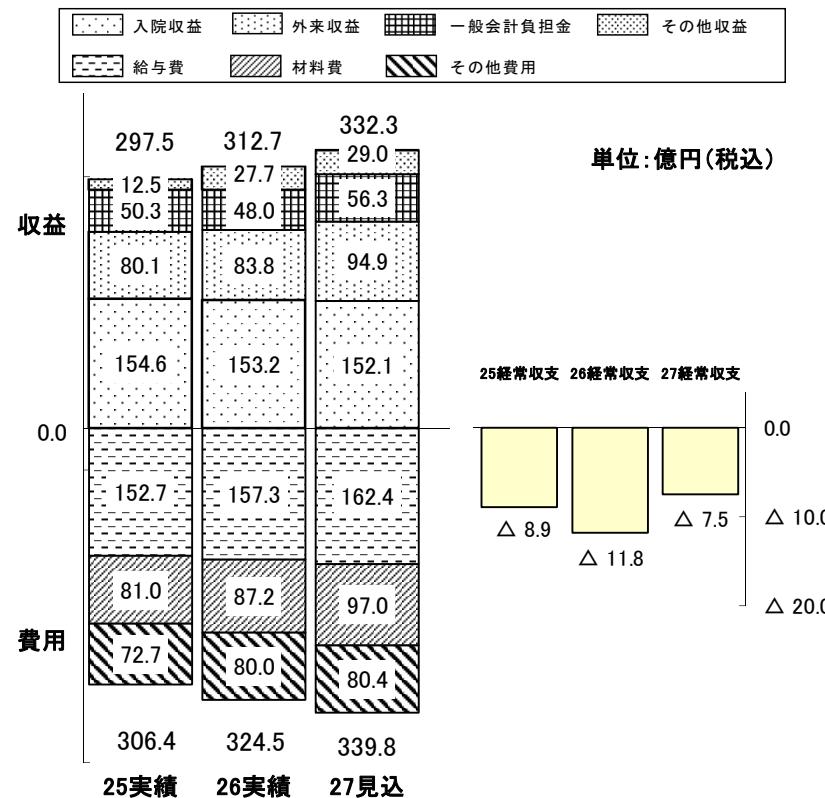
費用全体では75.8億円で、前年度決算（70.7億円）に比較して5.1億円の増加。

- ・給与費は、医師・看護師の増員などにより2.4億円の増加。

- ・材料費は、高額薬品の使用増などによる薬品費の増0.3億円、救急関係の使用物品の増による診療材料費の増0.5億円、救急棟初度備品による医療消耗備品費の増0.3億円。

- ・その他費用は、救急棟オープンによる委託費の増、救急棟初度物品による購入費の増、修繕費の増などにより1.6億円の増加。

5 病院事業全体



※病院事業全体の数値には本庁分は含み、旧尾張診療所跡地にかかる経費は除いています。

【平成26年度決算】

<差引損益>

平成26年度経常収支は11.8億円の赤字で、前年度決算（8.9億円の赤字）に比べ2.9億円の収支悪化。

<収益>

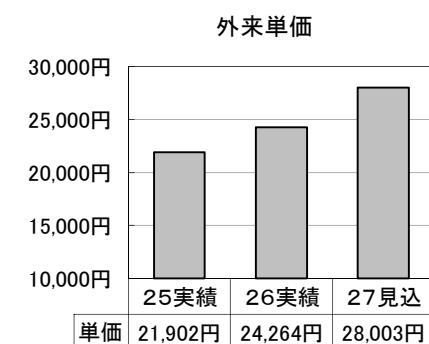
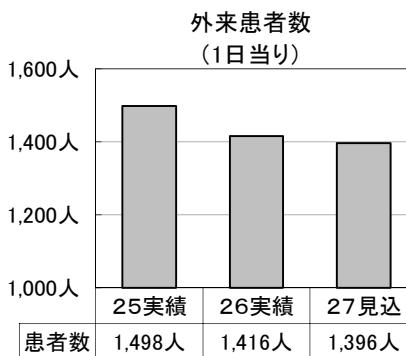
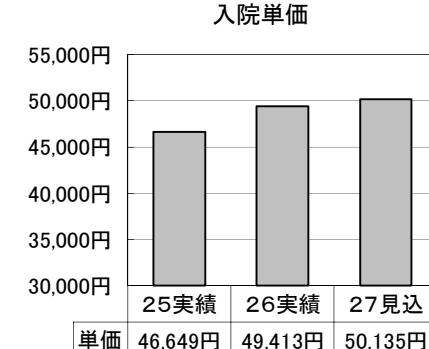
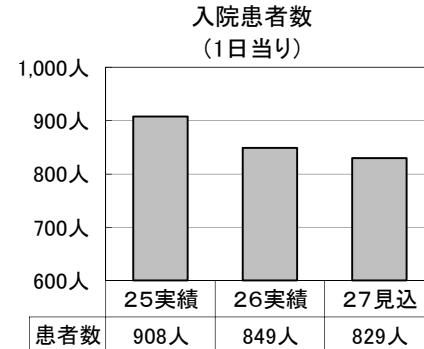
収益全体では312.7億円で、前年度決算（297.5億円）に比較し15.2億円の増収。

- ・入院収益は、平均在院日数の短縮による入院患者数の減少が診療単価の上昇を上回ったため、1.4億円の減収。
- ・外来収益は、診療単価の上昇などにより3.7億円の増収。
- ・一般会計負担金は、2.3億円の減額。
- ・その他収益は、新会計制度導入に伴う長期前受金戻入・資本費繰入収益の計上による増12.7億円、受託研究収益の増などによる増2.5億円。

<費用>

費用全体では324.5億円で、前年度決算（306.4億円）に比較して18.1億円の増加。

- ・給与費は、医師・看護師等の増員、給与抑制解除により4.6億円の増加。
- ・材料費は、消費税増税に伴う支出の増2.4億円、高額な抗がん剤等の使用量の増などによる増3.8億円。
- ・その他費用は、みなし償却制度廃止等に伴う減価償却費の増7.3億円、尾張診療所閉所に伴う減3.4億円、光熱水費の増、委託費の増などによる増3.4億円（うち消費税増税に伴う支出の増1.3億円）。



【平成27年度決算見込】

<差引損益>

平成27年度経常収支は7.5億円の赤字となる見込みで、前年度決算（11.8億円の赤字）に比べ4.3億円の収支改善。

<収益>

収益全体では332.3億円で、前年度決算（312.7億円）に比較し19.6億円の増収。

- ・入院収益は、入院患者数の減少が診療単価の上昇を上回ったため、1.1億円の減収。
- ・外来収益は、診療単価の上昇などにより11.1億円の増収。（うち、オプジーボの肺がん適用追加に伴う注射料の増5.5億円）
- ・一般会計負担金は、8.3億円の増額。
- ・その他収益は、城山病院の医療観察法病棟運営費等の補助金収入の増などにより1.3億円の増収。

<費用>

費用全体では339.8億円で、前年度決算（324.5億円）に比較して15.3億円の増加。

- ・給与費は、医師・看護師等の増員により5.1億円の増加。
- ・材料費は、高額な抗がん剤等の使用量の増などによる増9.8億円。（うち、オプジーボの肺がん適用追加に伴う薬品費の増5.5億円）
- ・その他費用は、城山病院改築に伴う初度備品の整備による消耗品費・消耗備品費の増、小児センター医療情報システム導入などによる委託費の増などにより0.4億円の増加。